

1. 高純度窒素を開き、ポンプ、本体の電源をONにする。
2. 本体左側の脱気ステージに、サンプルを入れたセルをセットし、真空引きを行う。
3. 十分真空引きを行った後（10分程度）、ヒーターの加熱を徐々に行う。
4. 所定時間加熱真空引きを行った後、ヒーターの加熱をOFFにして、室温に戻る迄静置する。
5. 真空を大気圧に戻し、本体右側の測定ステージに、サンプルとロッド（ガラス棒）を入れたセルをセットする。セットの際は、デュアー瓶のふたをセルに通すよう取り付ける。
6. 液体窒素を瓶に補充し、パソコンで操作し、測定を開始する。
7. 測定後、セルを取り外し、サンプルを取りのぞき、セルの洗浄を行う。※サンプルは再利用可能。
8. セルの洗浄は、最終的にメタノールで置換し、ドライヤーを用いて、セルに付着しているメタノールを蒸発させる。
9. 換気の十分な場所で、残った液体窒素を除いた後、デュアー瓶を水、メタノールで洗浄する。
10. 本体左側の脱気ステージに、洗浄したセルとロッド（ガラス棒）を取り付け、真空引きを行う。
11. 十分真空引きを行った後（10分程度）、ヒーターの加熱を徐々にいき、300度で1時間加熱真空引きを行う。
12. ヒーターの加熱をOFFにして、室温に戻った後（約1時間かかる）、大気圧に戻し、セルを取り外し、セルの重量を記録する。
13. パソコンとポンプの電源OFF、高純度窒素の元栓を締め、使用記録簿を記入して終了する。
 - ※ セルの取扱いは、パウダーフリーの手袋を用いて行う。
 - ※ セルの破損防止の為、ヒーターにセルを取り付けた後、セルを本体に取り付ける。取り外しの際は、セルを本体から取り外した後、セルをヒーターから取り外す。
 - ※ 各ステーションで用いるセルとロッドが定まっているので、セルの区別を行うこと。
 - ※ 取り扱いの詳細は手順書を参照すること。不明な点はすぐに担当まで連絡すること。